

(別記様式)

平成26年度 府立城陽支援学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階・実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
1 いのちと人権を大切に、安心して安全な教育の推進 2 児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育の推進 3 出口へのスムーズな接続 4 医療・労働・福祉等と連携した、地域や保護者から信頼される学校づくりの推進 5 学校組織・運営の改善	1 成果 (1) 新規実習・就職先含む進路実現 (2) ポスターセッションによる研修・実践交流 (3) 通級指導教室の開設等の地域支援・連携の拡大と、公開授業等の実施 2 課題 (1) 通学高等部の職業学科改編の取組の推進 (2) 情報処理・発信システムの構築と活用 (3) 病院・病棟との共通理解・連携の強化	1 京都府立病院との連携による指導体制の充実 2 職業学科への改編を見通した取組の推進 3 地域支援の拡充(通級指導の推進・関係機関との連携) 4 学校公開と情報発信の促進 5 指導計画から評価への指導システムの構築 6 人材の育成に向けた教職員研修の充実

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
1 組織・運営	(1) 職業学科への改編に向けた取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・職業学科コースの調査及び教育課程研究の推進 ・職業学科コースを見通した新たな実習先、就労先の計画的な開拓と、進路指導の充実 ・3年間の系統性をもった学習内容の充実 ・入学相談・入学選考システムの見直し 		
	(2) 学校公開の推進による本校理解の促進と専門性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開の実施と、他者評価の還元 ・土日参観の実施による保護者の理解協力の促進 ・校務分掌等によるポスターセッションの実施 ・校内研修の計画的な実施と充実 		
	(3) 情報処理・発信システムの構築と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だより、学校ホームページによる情報発信 ・校内LANの再構築と活用 		
	(4) 病院・病棟との連携による指導体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・重度化に応じた医療的ケアや登校計画の実施 ・病院との共通理解・連携による指導体制の改善 		
	(5) 避難・緊急連絡システムの構築と学校安全計画等の周知と取組	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との緊急時連絡システムの構築 ・京都府立病院と連携した避難システムの検討 ・学校安全計画・保健計画による取組の推進 		

2 地域支援	(1) 通級指導教室の活用や小中高校・関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> 通級指導教室の活用推進と実践報告・発信 小中学校特別支援学級への支援と情報提供 			
	(2) 不登校に関する相談や研修支援の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校の支援体制づくりを目指した支援と、関係機関との連携の充実 小中高等学校の生徒指導・教育相談担当との連携の推進 小中高等学校のニーズに応じた研修支援の充実 次期コーディネーターの育成につなぐ取組 			
	(3) 地域との交流による連携	<ul style="list-style-type: none"> 新たな交流先の開拓と、市町村機関との連携 			
3 教育課程 (学習指導)	(1) 指導計画から評価へのシステムの構築	<ul style="list-style-type: none"> 授業評価システムの構築（重） 転入から転出に至る指導システムの再構築（病） 個別の指導計画と通知票の連動の検討（通） 			
	(2) 教育部の教育課題に応じた実践研究の推進と発信	<ul style="list-style-type: none"> 支援機器の活用 実践研究報告（重） 不登校児童生徒への関わり 実践研究報告（病） 職業に関わる指導のあり方 実践研究報告（通） 			
	(3) 児童生徒の障害や課題に応じた教育課程の検討	<ul style="list-style-type: none"> 重度化に対応した教育課程や指導の検討（重） 心理的課題対応への特別な教育課程の検討（病） 新たな職業教育に向けての教育課程の検討（通） 			
	(4) 教育相談機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の思いを受け止める教育相談力の向上 教育部における教育相談体制の構築（病・通） 			

学校関係者 評価委員会 による評価	
-------------------------	--

次年度に 向けた改善の 方向性	
-----------------------	--